

公立小松大学大学院研究棟建設事業設計・施工一括発注プロポーザル審査要領

1. 趣旨

公立大学法人公立小松大学（以下「法人」という。）は、公立小松大学大学院研究棟建設事業の実施にあたり、民間事業者の高い技術力及び豊富な経験等を活用するために設計・施工一括発注方式を採用し、プロポーザル方式により優先交渉権者を選定する。

本要領は、公立小松大学大学院研究棟建設事業設計・施工一括発注プロポーザルにおける優先交渉権者である最優秀者及び次点者である優秀者の選定にあたり公立小松大学大学院研究棟建設事業設計・施工一括発注プロポーザル募集要項に定めることのほか、必要な事項について定めるものとする。

2. 公立小松大学大学院研究棟建設事業設計・施工一括発注プロポーザル審査委員会

最優秀者及び優秀者の選定は、公立小松大学大学院研究棟建設事業設計・施工一括発注プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）において行う。

なお、審査委員会の構成審査委員会は、学識経験者を含めた法人職員、小松市職員により構成する。

3. 参加資格の確認

本法人は、参加表明者から提出された参加表明書等に基づき、参加資格の適格を確認する。確認後は、審査委員会に報告するものとする。

4. 実績・体制の評価【一次審査】

本法人は、提出された参加表明書等から「6. 評価項目及び評価基準」に基づき、実績・体制の評価の採点を行い、審査委員会に報告するものとする。審査委員会は、本法人の報告をもとに審査を行うものとする。

5. 技術提案等の評価【二次審査】

審査委員会は、提出された技術提案書並びに提案価格から「6. 評価項目及び評価基準」に基づき、評価を行うものとする。審査委員会にて、プレゼンテーション及びヒアリングの実施が必要であると判断した場合は次のとおりプレゼンテーション及びヒアリングを行うものとする。

- (1) プレゼンテーション技術提案者は、提出した技術提案書の内容に基づき、15分程度のプレゼンテーションを行う。
- (2) ヒアリング審査委員会は、プレゼンテーション後に20分程度のヒアリングを実施する。質疑回答は、原則として統括代理人又は配置予定の技術者が行うものとする。
- (3) 評価点の算定各項目の評価点は、各審査委員の評価点の平均点（小数第4位を切り捨てて、第3位まで）とした後、すべての項目の評価点を合計する。

(4) 留意事項

技術提案者は、プレゼンテーション及びヒアリングにおいて、提案者名及び提案価格見積書の価格（以下「提案価格」という。）を公表してはならない。また、技術提案書と異なる説明や追加資料の配布は認めない。

6. 評価項目及び評価基準

評価項目及び評価基準は、下表のとおりとする。

【実績・体制の評価】

大項目	小項目		評価基準	配点	
企業の評価	設計業務の実績		実績の種類、規模、件数について評価する。	5点	
	施工業務の実績				
業務全体の 実施体制	統括代理人の実績及び資格		DB方式であることを踏まえて、適切な統括代理人を配置できるか。	5点	
設計業務の 実施体制	設計管理技術者と設計主任技術者の実績及び資格	設計管理技術者	基本設計及び実施設計を行う上で、望ましい技術者を配置できるか。	5点	
		主任技術者			建築
					構造
					電気設備
機械設備					
施工業務の 実施体制	現場代理人、監理技術者及び施工担当者の実績及び資格	現場代理人	施工を行うのに望ましい技術者を配置できるか。	5点	
		監理技術者			
合 計				20点	

【技術提案の評価】

大項目	小項目	評価基準	配点
全体管理	工程計画	業務の理解度、的確性、実現性を考慮し総合的に評価する。	10点
	進捗管理計画		
業務の実施方針 (取組み体制等のほか、本事業での建設工事において、地域経済に対する取組み(市内業者の活用)についても提案。)		<ul style="list-style-type: none"> ・事業への取組み体制について総合的に評価する ・事業を行うことにより、地元(企業・個人・地域など)に貢献・還元がなされているかを考慮し総合的に評価する。 ・研究棟設計・整備工事において、大学からの要望等への取組みを総合的に評価する。 	10点
特定テーマ についての 技術提案	①本工事中における大学及び大学利用者等への対応、対策についての提案	仮設計画、安全計画、その他配慮する内容等について、適確性、有効性を考慮して総合的に評価する。	10点
	②研究棟周辺整備の範囲及び整備内容について提案	本事業にて実施する既存校舎と調和を図る内容、範囲及び、外構工事	15点

		の範囲と内容について評価する。	
	③大学院研究棟の外観デザインについての提案	大学院研究棟としてのデザイン性について評価する。	15点
提案価格		業務コストの妥当性	20点
合 計			80点

「的確性」：与条件との整合性が取れているか。

「創造性」：工学的知見に基づく創造的な提案がされているか。

「実現性」：提案内容が理論的に裏付けされており、説得力のある提案となっているか。

(注) 以下の内容であるか等の評価する

- ・共同企業体を結成した場合における市内業者の参加状況。なお、共同企業体の結成については、「別紙共同企業体の結成例」を参考にすること。
- ・共同企業体結成の有無に関わらず、社会経済情勢の変化を勘案した市場における労務及び資材等の取引価格の適正化に配慮した内容であるか。

提案価格評価点

[算定式]

$$\text{評価点} = 20 \text{点} \times \frac{\text{法人の予定価格} - \text{提案された価格}}{\text{法人の予定価格} - \text{提案された最低価格}}$$

7. 最優秀者及び優秀者の選定・決定

(1) 最優秀者及び優秀者の選定

- ①審査委員会は、一次審査及び二次審査の評価点の合計が最も高い者を最優秀者、次に高い者を優秀者として選定するものとする。
- ②評価点と同値の場合は、小数第4位以下を切り捨てないで比較し、高い数値の者を上位とする。
- ③上記②においても評価点と同じ場合は、提案価格が低い者を上位とする。
- ④上記③においても提案価格が同額の場合は、くじ引きにより選定するものとする。

(2) 最優秀者及び優秀者の決定

本法人は、審査員会の選定結果を受けて、最優秀者及び優秀者を決定するものとする。